

平成25年度施策評価シート(平成24年度実施事業)

作成主管課	商工観光課
	関係課
施策名	地場産業
施策コード	2-1-2

総合計画後期基本計画の内容

政策体系	政策	第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕
	小政策	1 笠間を体感できる観光・産業を振興します
現況と課題	<p>本市では、笠間焼や稲田みかげ石をはじめとする独自の産業が生まれ継承されています。また、「栗」・「小菊」など多彩な農産物の産地ともなっており、重要な産業として地域に深く根付いています。そして、これらの産業は、本市の知名度や魅力向上においても、大きな影響を与えています。</p> <p>国の伝統的工芸品である笠間焼については、笠間の陶炎祭に代表されるPR事業、新商品の開発、広報等による普及活動や販路開拓事業として、市内及び近隣飲食店などでの活用促進事業を展開してきました。石材業は、稲田みかげ石を活用したPR事業や新デザイン商品への支援などを実施してきましたが、経営面では厳しい環境にあります。また、「栗」や「小菊」などについては、「かさまの粹」農産品認定制度によりブランド化を図るなど、新たな成長が期待されています。</p> <p>今後は、これらの伝統産業や特産物は、地域の魅力やイメージ、認知度を高めていく資源であることを踏まえ、観光や農林業の振興と連携した地域の活性化につなげていくため、継続的な支援を実施しながら、販売戦略の強化、地域クラスター化など経済効果を強める対策を検討していく必要があります。</p>	
施策目標	本市の誇る伝統産業や特産物を継承し、成長を促進するため、他産業への活用や積極的なPRの推進など、販売戦略の強化とブランド力の向上を図ります。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
地場産業生産品が市内外施設において活用されていると感じている市民の割合	市民実感度	40.420	51.830				
	加重平均値	2.363	2.571				
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		87.290				
	加重平均値		3.423				

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
笠間焼協同組員数(販売店含む)	目標値	事業者		160	160	160	160	160
	実績値	事業者	157	158				
	達成度	%		98.75				
	ベンチマーク							
稲田石材商工業組員数	目標値	事業者		65	65	65	65	65
	実績値	事業者	61	60				
	達成度	%		92.31				
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	地場産業の振興のために設置されている団体であり、市の補助団体であるため各協同組員数を設定する。
	目標値設定の考え方	産業の弱体化により組員数が減少していることから、現状を如何に維持するかを勘案し目標値とする。

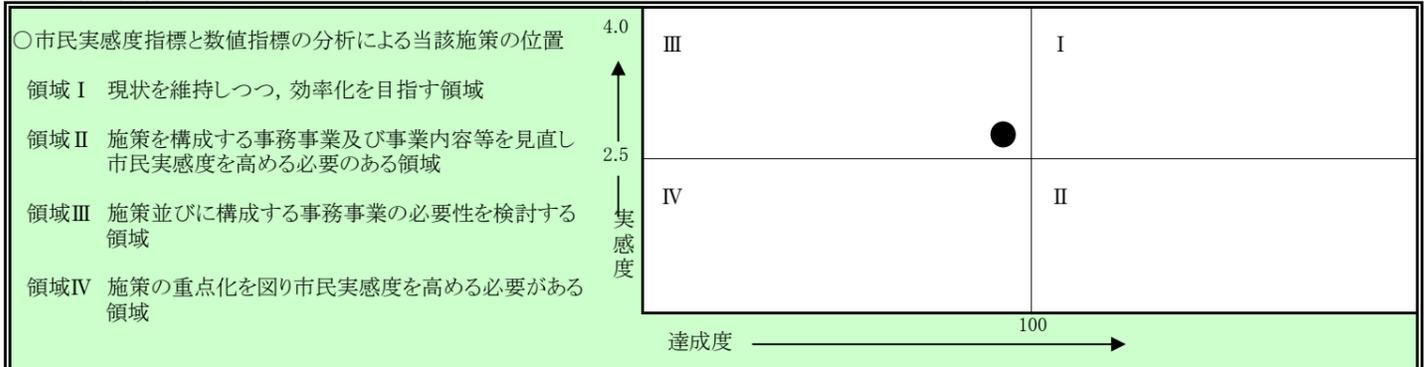
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。
	<p>市民: 日常生活に地場産材を活用する。</p> <p>事業所: 消費者ニーズに即した商品開発及び販路の開拓を行う。</p>
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。
	<p>伝統産業のPR</p> <p>公共事業への積極的な活用</p>

3 平成24年度の取組状況

取組状況等	取組み内容と成果, 成果が得られた要因として考えられること。
	<p>笠間焼</p> <ul style="list-style-type: none"> 笠間焼第5次振興計画を国に申請した。(笠間焼協同組合と窯業事業者とが笠間焼の将来へ危機感を持って対応し始めたため) 稲田みかげ石 県民復興祭といなだストーンフェスティバルを同時開催し、多くの来場者へPRできた。(茨城県全体としてもみかげ石は重要な地場産業であるため)

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	市民の実感度調査は向上しているが、産業としては横ばい状態であるため、施策目標を達成するまでには至らない。
-------	--

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	笠間焼及び稲田みかげ石の両地場産業において、事業所単体ではなく各団体へのバックアップにより新たな成長を期待していることから、構成としては妥当と考えられる。
------------	---

平成25年度以降に残る課題, その要因として考えられること。

残された課題	長引く景気低迷による販売金及び販売量の減少
--------	-----------------------

5 今後の方向性

取組方針	平成26年度に向けた施策方針
	<p>笠間焼においては、あらたな陶芸家育成のための補助事業を充実させると共に第5次振興計画に沿った笠間焼き協同組合の事業による産業振興を実施。</p> <p>稲田みかげ石については、景気上昇が見込まれることから、各種イベント等において更なるPRを実施する。</p> <p>なお、昨年度に引き続き緊急雇用事業を活用し活性化を図っていく。</p>

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度		
1	笠間焼陶芸家支援事業	国の伝統的工芸品として指定を受けている笠間焼を活性化し、笠間への来訪者の増加などの要因により、地域経済効果を高める事を目的に、観光や農業などと連携を図った事業展開を行なう。震災による被害に対しての支援も実施した。	政策的事業	笠間の陶炎祭集客数	人	330,500	380,000	341,000	市単	2,323	6,845	11,557	1
2	稲田みかげ石事業者支援事業	明治時代から続く地場産業である稲田みかげ石の活性化について、事業協同組合を中心に支援することにより業界全体の経営向上を図る。	政策的事業	石材イベント参加者数	人	72,000	72,000	207,000	市単	4,084	6,531	5,174	2
3	笠間焼プロデュース事業	笠間焼販路拡大と笠間焼を活用した笠間のPRを目的に、飲食店への販促活動を実施するため、笠間焼協同組合に雇用対策とあわせた事業を委託する。	政策的事業	飲食店利用店数(販促活動店数)	店	3	10	10	国補助	3,990	3,990	3,990	4
4	稲田みかげ石紹介事業	地場産業である稲田みかげ石の普及を目的に、ストーンエキシビジョンなどの作品の販路拡大を実施する。	政策的事業	エキシビジョン作品販売点数	点	2	1	3	国補助	3,990	3,811	3,706	4
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
事業費合計										14,387	21,177	24,427	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 地場産業			
施策目標に対する事務事業の意図 いる している ある	1 施策目標に対応して 笠間焼陶芸家支援事業 稲田みかげ石事業者支援事業 笠間焼プロデュース事業 稲田みかげ石紹介事業	2	4
	3	5	7
	6	8	9

施策の対象と一致している

施策の対象と概ね一致している

施策の対象と間接的(少数)である

施策の対象と事務事業の対象

法定受託事務(義務的事業に分類)

